

### 加古川南高・書道部長の前田さん



# 全国総文にかな書出品

加古川南高校(加古川市加古川町友沢) 3年で書道部部长前田虹胡さん(17)が、和歌山県で開催されている全国高校総合文化祭(総文祭)の書道部門に出品した。流れるような筆致で平仮名を使った「かな書」を仕上げ、前田さんは「文化部のインターハイ」と呼ばれる大舞台に挑んでいる。(千葉翔大)

前田さんは、小学1年生で自宅近くの書道教室に通い始めたという。現在も週2回の部活動に加え、教室にも通って腕を磨く。出品したのは、14枚の和紙を組み合わせた作品で、平安時代の古筆「一条撰政集」を書き写した臨書。同校入学後、一貫して書き続けてきた。まず、昨年11月に神戸市灘区で開かれた県高校総合文化祭書道展に出品。書道部で指導する前田和美さんの助言を基に、縦16枚、横32枚の和紙にしたためた。完成までに1カ月以上をかけ、約50枚を費やしたという。前田さんは「ずっと書き続けていたけれど慣れも出てきて、書へスピードも速くなった。文字が太くならないよう力を抜き、ゆっくと書けることを意識。その結果、県内98校か

## 和歌山で6日まで展示 太さや濃淡にこだわり

ら集まった計3083点のうち10作品の「全国総文推薦賞」に輝いた。総文祭への出場が決まり、異なる和紙に同じ作品を1から書き直したという前田さん。「文字の太さや墨の濃淡などにこだわった。難しいかもしれないが、上位を目指したい」と話す。8月6日まで和歌山県白浜町の町立総合体育館に展示され、5日には審査結果の発表がある。



前田さんが書いた作品の一部